

人類（ヒト）は、地球上で唯一「自我」を持つ生物です。「自我」の定義は分野によってさまざまですが、私は「自分が自分という存在であることを認識していること」と考えています。ヒト以外の生物には自我が存在しません。ウサギはかわいいですが、それはウサギという存在を認識しているヒトがそう思っているだけで、ウサギ自身は自分がウサギという存在だということ自体を知りません。

もちろん昆虫にも自我はありません。美しいチョウもヒトが美しいと感じているだけで、チョウは自分がチョウだと考えることすらできません。チョウの行動はすべて環境や外界の物理作用による反射に過ぎない……と私は今まで思っていました。しかし先日、大磯丘陵の菜の花（キャベツの花）のまわりを飛び交うモンシロチョウの一群を撮影して、その写真をあとからよく見た時、その考えは一変しました。朝の光の中、好きなだけ蜜

を吸って仲間と飛び交う姿が、実に幸せそうに見えたのです。もしかしたら、あの小さな体の中の何らかの神経作用が、モンシロチョウに幸福感を与えているのかも知れません。

2025 年 6 月上旬

神奈川県大磯丘陵

